

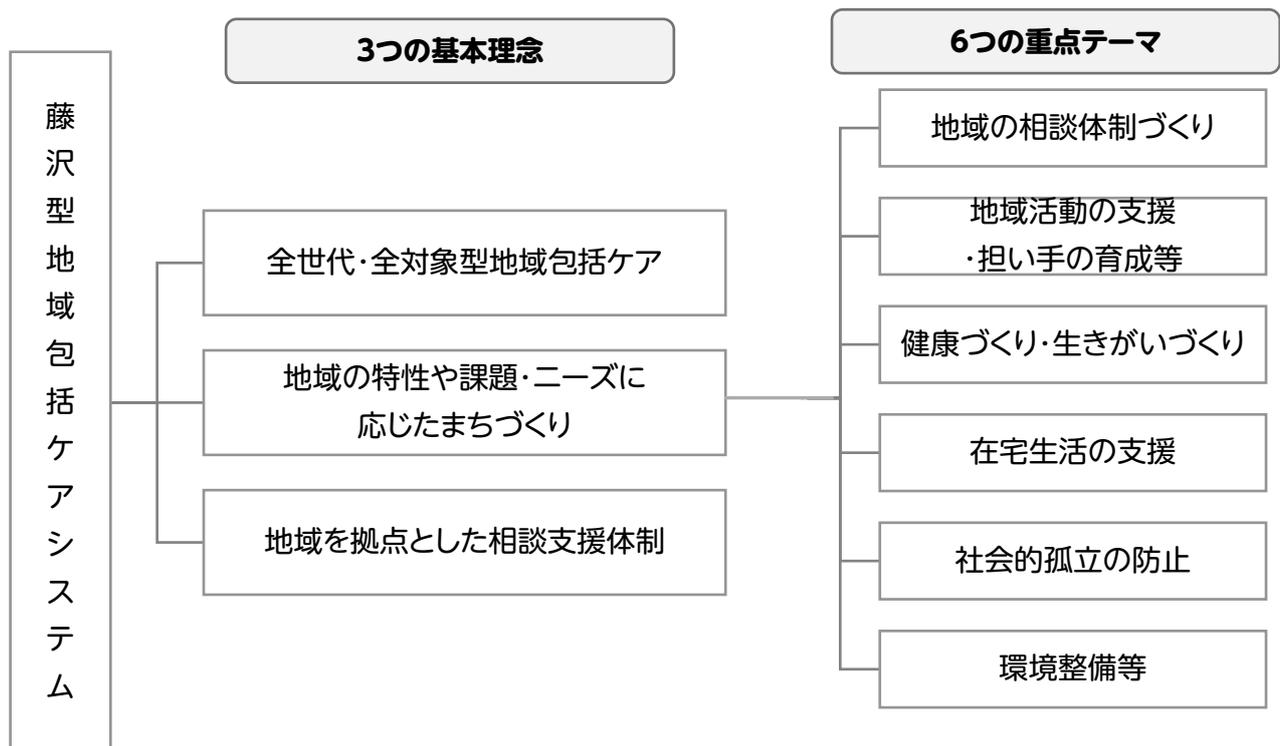
藤沢型地域包括ケアシステム推進会議での評価_ヒアリングシート設問・回答結果

「藤沢型地域包括ケアシステム」では、「3つの基本理念」と「6つの重点テーマ」を設定して、取組を進めています。

この会議の任期である2年間(2024年・2025年)は、いわゆる団塊の世代が75歳以上になる2025年に向けて、これまでの実績や今後の課題整理を行いたいと考えています。

つきましては、めざす姿に対する総合的な評価に向け、3つの基本理念について、ご意見ををお願いします。

【3つの基本理念／6つの重点テーマ】



【
】

→ない場合:相談を受ける機会の詳細について(例:出張相談の取組、店舗での営業中など)

【
】

■ 1. 全世代・全対象型地域包括ケア=====

(1)達成度(感覚で構いません)

全世代・全対象が地域で暮らし続けられる体制が整っていると感じますか？

<選択肢>5~1の点数(5:進んでいる>1:遅れている)でお答えください。

点数:【
】

理由:

(2)世代別の体制

-1. 支援のための制度やサービスや整っている、充実していると感じる世代はありますか？

【
】

※できる限り10代~80代など、10才代区切りでご回答ください。

※難しい場合は小学生・中高生、高齢者など、分類名でご回答ください。

理由:

-2. 支援のための制度やサービスが不足している、拡充が必要と感じる世代はありますか？

【
】

理由:

(3)対象(分野・特性)別の体制

-1. 支援のための制度やサービスや整っている、充実していると感じる対象(分野・特性)はありますか？

【
】

(例)障がいのある方、外国につながるのがある市民、生活困窮世帯など

理由:

-2. 支援のための制度やサービスが不足している、拡充が必要と感じる対象(分野・特性)はありますか？

【
】

理由:

(4)施策の充実について

-1.ご自身が関係する世代・対象に対して、どのような施策が充実していると思いますか？

<選択肢(複数選択可)>

- 公的支援制度
- 世代・対象の特性に関する理解の周知啓発活動
- 相談窓口の設置
- 地域団体・市民団体による活動
- 支援者のための活動支援
- その他:

理由:

-2.ご自身が関係する世代・対象に対して、どのような施策が足りないと思いますか？

<選択肢(複数選択可)>

- 公的支援制度
- 世代・対象の特性に関する理解の周知啓発活動
- 相談窓口の設置
- 地域団体・市民団体による活動
- 支援者のための活動支援
- その他:

理由:

(5) 団体(選出母体)または個人の取組について

-1.ここ数年で、新たな課題設定を行い、うまくいった取組がありましたらお教えてください。

・課題:

・取組:

-2.これから取り組むべき課題や、その課題に対して予定している活動・取組がありましたらお教えてください。

・課題:

・取組:

-3.世代や対象を掛け合わせた(または限定しない)活動・取組がありましたらお教えてください。

(1)達成度(感覚で構いません)

身近な生活圏内のなかで、相談できる体制が整っていると感じますか？

※ここでの相談は、公的制度に関するものだけではなく、家庭のことやご近所トラブル、健康、福祉、医療、子育て、教育など幅広い相談をさします)

<選択肢>5~1の点数(5:整っている>1:整っていない)でお答えください。

点数:【】

理由:

(2)相談の受け入れ状況について(相談される機会がある方・団体のみ)

-1. 相談件数の増減傾向をお教えてください。※コロナ禍以降を目安としたここ数年

・増減傾向:

-2. 相談内容の傾向をお教えてください。※コロナ禍以降を目安としたここ数年

・相談内容の傾向:

(3)相談ネットワーク・つなぎについて(相談される機会がある方・団体のみ)

-1. 自分・所属団体で対応が難しい相談だった場合、他の団体や地域内で相談をつなぎ、支援ができるネットワークがつくられていると感じますか？

<選択肢>5~1の点数(5:相談・支援のネットワークがつくられている>1:つくられていない)でお答えください。

点数:【】

理由:

-2. 他の団体等につなぐ場合、よくあるつなぎ先をお教えてください。

【】

-3. 支援につながる具体的な相談窓口がわからない場合(困ったときの「とりあえずのつなぎ先」)で、思いつく連絡先はありますか？

<選択肢>有・無

【】

→ある場合:連絡先

【】

※市民センター、コミュニティソーシャルワーカーなど

(4)ご自身が相談する側として(相談経験があればお教えてください)

-1.差し支えなければ、相談先と相談内容をお教えてください。

・相談先:

・相談内容:

-2.相談時に感じたことや課題があればお教えてください。

自由記述:

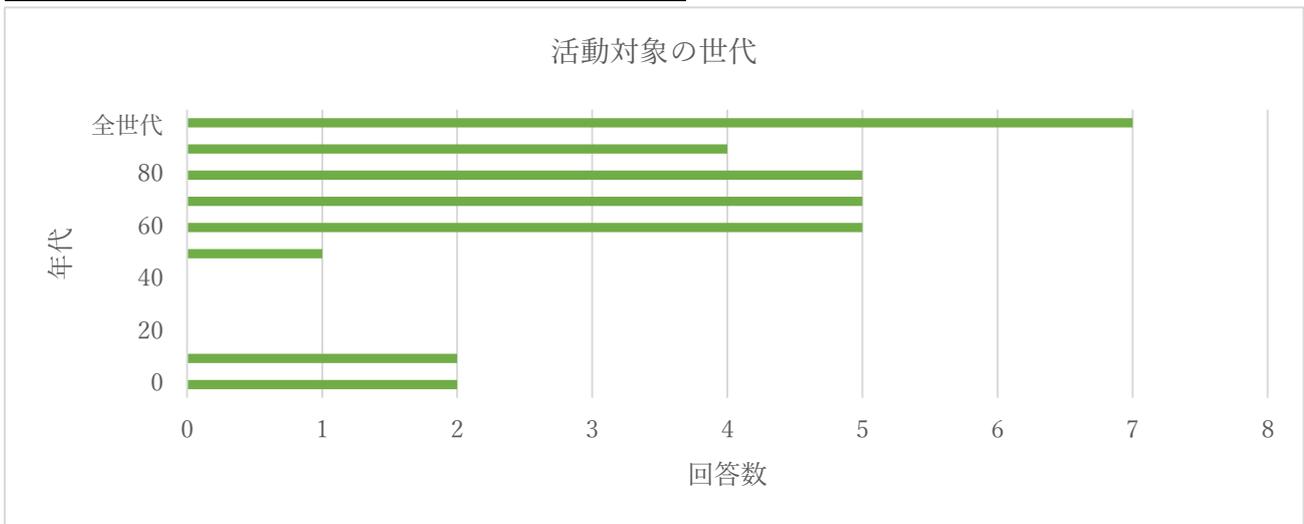
集計速報

【集計にあたって】

- ・すべての設問ではなく、特徴的な回答／意見交換のテーマに設定したい項目を選定してまとめています。
- ・重複する選択肢については延べ数です。
- ・高齢者→60代以上／子育て世帯→20～40代／児童→0・10代／中高生→10代 としています。
- ・記述において、二重下線はポジティブなもの、波線は課題があるものにしています。
- ・ご回答の意図と異なる部分がありましたら、大変恐縮ですが、会議後にお知らせください。
- ・回答数=13

■ 0. 回答者について =====

○選出母体や所属団体、ご自身の活動で対象とする世代



- ・世代を問わない、または高齢者を主とした活動を行う団体が多い。
- ・乳幼児・児童・中高生を主な対象世代とする団体もある。
- ・20代～50代の若年層・壮年層に特化した活動を行う団体はない。

○地域からの相談について

(1)相談の有無：地域住民から相談を受ける機会がありますか？



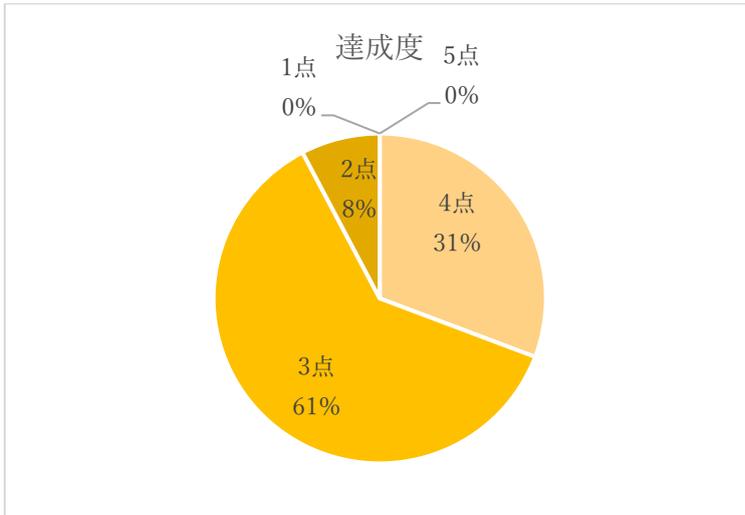
- ・各団体とも、何かしらの相談を受ける機会がある。

(2)相談を受ける窓口や連絡先はありますか？

窓口名／相談を受ける機会	団体
外来、電話	藤沢市医師会
お口の相談窓口、地域医療連携室	藤沢市歯科医師会
各薬局の連絡先および薬局店舗	藤沢市薬剤師会
利用会員	長後地区ボランティアセンター「なごみ」
老人クラブの役員会や集会、活動中など	藤沢市老人クラブ連合会(村岡地区老人クラブ連合会)
各町内会長と自治会長及び鶴沼地区市民センター	鶴沼地区町内会自治会連合会 会長
片瀬地区まちかど相談(ボランティアセンター内)高齢者・子育て・障がい・生活全般	地区社会福祉協議会連絡協議会(片瀬地区社会福祉協議会)
湘南台いきいきサポートセンター	地域包括支援センター連絡協議会(湘南台地域包括支援センター)
基幹相談支援センターえぼめいく	ふじさわ基幹相談支援センター えぼめいく
藤沢市社協、各市民センター公民館 CSW 相談窓口(週1回)、電話、メール、CSW やボラセン担当職員によるアウトリーチ	藤沢市社会福祉協議会

■ 1. 全世代・全対象型地域包括ケア =====

(1) 達成度：全世代・全対象が地域で暮らし続けられる体制が整っていると感じますか？



・平均点 3.23 (小数点第3位以下四捨五入)

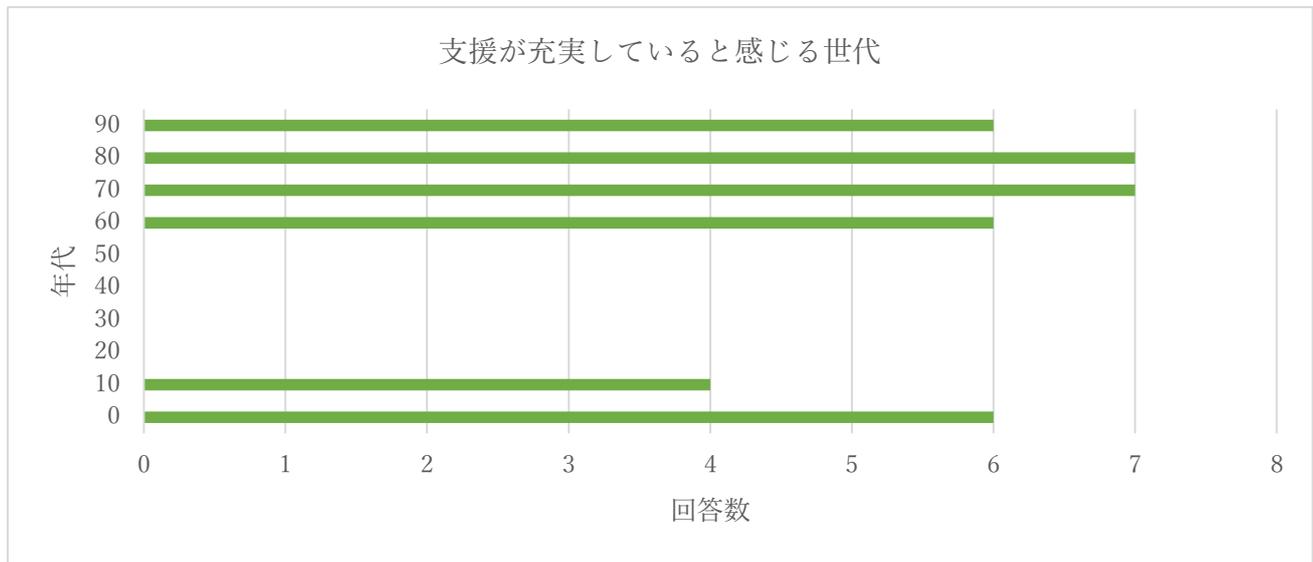
点数	理由
4	<u>ご高齢者やお子さんについては医療面や福祉に充実がみられていると思います</u>
	①受け皿となる年代の方々が、不足気味で担い手不足が顕在化しているような気がする。
	②特に民生委員の人選は、これからかなり厳しくなるとおもわれる。
	・ <u>各地区にCSWが配置</u> されており、とても効果的な支援を行っている。 ・ <u>障がい児(者)の相談体制</u> について、人と事業所数が足りていないと感じています。
3	システム的には進んでいるが、それを支える人材や資源が不足している。
	進んでいるところ遅れているところいろいろあると思うので。
	・薬局が地域の健康情報発信の拠点であるとの認識が低い
	・ <u>小児の医療費助成は一定程度充実</u> している
	・外来診療体制に比べ入院病床数は、人口比で少ない
	・ <u>地域医療介護連携が徐々に整いつつある</u>
	道路がせまい、側溝の整備、交通手段がない、店が少ない(気楽に立ち寄れる喫茶店など)
	特段の問題が発生しているわけではないので体制が整っているのではないかと思う。ただし、高齢者以外の世代についてよくわからないので3点とした。
支援制度を受けている方もいれば、 <u>支援が届いていない方(制度を知らない、拒否など)</u> もいる。また <u>支援制度以外の部分を、家族で支えることができる方、できない方、では制度の満足度に差が生じる</u> 。全体として考えると、進んでいるともいえないとも言えない状況。	
着実に進んでいることは実感しているが、生活のしづらさの要因が複合的かつ困難さが深まってきており、単純に障がいに関する問題だけではないので、 <u>分野や領域を超えた横断的かつ重層的(包括的)な支援体制の構築が必須</u> になってきているのだが、特に子どもの領域を含めたライフステージに沿った支援体制の構築の着手が充分とは言えない。	
市民センター公民館が地区で整備されているため。しかし、 <u>必要な人に必要な情報が行き届いていない</u> 。自ら支援を断る、拒否する場合の介入に限界がある(申請制度)。	

2	子ども、障がい者、高齢者は地域で暮らせる支援が整いつつあるが、 <u>ひきこもりやダブルケア</u> は根深い問題であり、相談機関がわからない。
---	--

- ・高齢者・子ども／介護・医療分野において制度が拡充されている点は評価されている。
- ・一方で、分野や領域を超えた支援・制度のはざま、担い手不足や支援制度以外の部分については課題感が示されている。

(2)世代別の体制

-1. 支援のための制度やサービスや整っている、充実していると感じる世代はありますか？

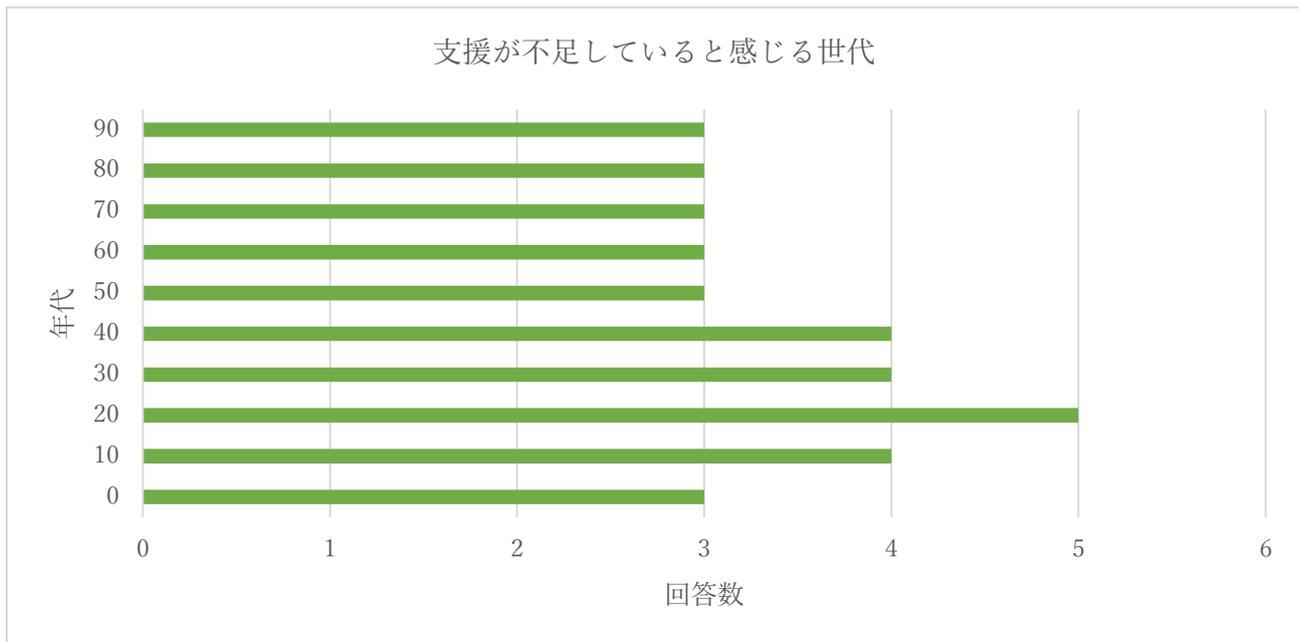


世代	理由
高齢者	市としても取組が進んでいるから
	元気な高齢者に対しては集える場所がある
	高齢者に対する制度やサービスは、ほぼ整っていると思う。
	充実とは言えないものの、 <u>介護保険</u> により、支援の必要となった高齢者がある程度の生活を保つことが可能となった。包括支援センターという専門機関が対応してくれるという安心感もある。将来的に、介護保険制度が存続可能であるのかという問題はあるが、現状では、デイサービス・ショートステイ・給食サービスなど、介護保険前を知る世代とすると制度は整っていると感じる。
	70代～80代についてはヘルパー事業所やCM事業所など一部を除いて充実していると感じます。
	困ったことがあれば、 <u>包括(いきいきサポートセンター)</u> に相談すれば良いし、 <u>介護サービス</u> が整っている。
	<u>介護保険</u> を利用する高齢者にはほぼケアマネージャーがついており、相談支援と介護保険サービスを利用しやすい。

乳幼児・ 学齢期	医療福祉制度は進んでいると思います。
	以前と比較して待機児童の問題で騒がれなくなった。
	幼稚園が無償になったと聞いた(我が子の頃は有償)
	放課後デイサービスが充実しているため。
	0・10代は医療費補助や学費補助など。
その他	社会の流れとともに、高齢者に対する制度やサービスは今後もさらに充実してくると予想され(個人の負担や利用料については利用しにくくなるか?)、子どもや成人期、壮年期、についてもそれぞれの課題について整ってくると思うが、各世代間のつなぎや、のりしろ、制度やサービスのはざまの方々への支援については大きな課題。

- ・高齢者と子どもについては制度・サービスの整理が進んでいる実感が伺える。
- ・一方で、20代～50代については回答がなかった。

-2. 支援のための制度やサービスが不足している、拡充が必要と感じる世代はありますか？



世代	理由
高齢者	災害時の支援体制図はあるが、誰が誰を誘導するのか名簿等がない。
	健康で元気な高齢者が、近間で気軽に過ごせる場所があってもよい。健康体操や歓談が気軽にできる施設で、車の危険が少なく割と交通の便が良い場所に欲しい。
	敬老会は規模縮小、お金のかかるものは高齢者人口が多いことから敬遠される。
子育て世代・ 20～50代	・相談する場所がすぐにわからない ・働きざかりとされているので弱っているところを、困りごとをみつけにくい
	子育ての不安を気軽に相談できる窓口の不足(保健所だけでなく)、子どもを預けることのできる体制が不足(ファミリーサポートの金額面・まかせて会員の体制の改善)

子育て世代・ 20～50代	を、ベビーシッター費用の補助制度など)、仕事と子育ての両立が家族の努力にまかされている状況(公的な支援体制を)、子育てが経済的に余裕のある家庭に圧倒的有利になる状況、公的な一時支援金の配布ではなく、 <u>子育て世代を支える支援制度が必要。</u>
ヤングケアラー／ 中高生・小学生／ 不登校児・生徒	<u>ヤングケアラーに対する施策</u>
	<u>放課後の児童に対する施設</u> はもっと必要ではないか。保護者がフルタイムで働きに出る時代です。放課後の児童に対し勉強を教える施設(学童)やスポーツクラブ等の施設をもっと充実したほうが良い。
	<u>生活が困窮して勉強ができない中高生のサポート</u> が必要。
	不登校関連は、教育と福祉の連携は進んできてはいるが、多くの不登校児・生徒が相談・支援機関につながっていない現状がある。
障がい者・学校卒業後の障がい児(者)の居場所	障がいはセルフプランの方が多く、明確な相談者が不在。そのため障がい者本人の情報量の中で考えるプラン・サービス利用になりがち。専門職が必要とするサービスの利用がされていないことが多い。
	<u>圧倒的に資源が不足しているため。</u>
外国につながるの ある市民	外国にルーツのある方への支援はまず、言葉のコミュニケーションをスムーズに行うため、費用面も含め通訳を探す(ボランティア含め)ことから苦慮することが多い。
その他	(前問と同様)社会の流れとともに、高齢者に対する制度やサービスは今後もさらに充実してくると予想され(個人の負担や利用料については利用しにくくなるか?)、子どもや成人期、壮年期、についてもそれぞれの課題について整ってくると思うが、各世代間のつなぎや、のりしろ、制度やサービスのはざまの方々への支援については大きな課題。

- ・前問との裏返しで、20代～50代に関する指摘がある。
- ・子育て世帯への支援と、子どもに対する支援については、家庭の生活困窮や、共働き家庭の子どもの居場所のことなど、重なる部分がある。
- ・学校卒業後など、世代間のつなぎ、制度やサービスのはざまについても課題が示されている。

(3)対象(分野・特性)別の体制

-1. 支援のための制度やサービスや整っている、充実していると感じる対象(分野・特性)はありますか？

分野・特性	回答数	理由
医療や教育を受ける方々	1	
高齢者介護分野	5	充実とは言えないが、介護の必要な高齢者 世代別でも書いたように、介護保険により介護の必要な高齢者が入所することのできる施設が増えたこと。訪問介護、在宅医療・在宅看護により、在宅介護も以前より困難でなくなった。(将来的に、介護職人材の減少など課題はあるので、あくまで現状での話)
		歴史があり、高齢者にも認知度が高いため、自然と社会資源が整ったのだと思います。(ただし、今後はサービス担い手の減少によ

高齢者介護分野	5	り、サービスが充分に行き渡らない可能性はあります。
		相談機関が明確で、介護サービスが充実している。
		・高齢・介護保険制度等幅広くサービスがあり、基本的な生活はカバーできる。地区ボランティアセンターも対象を高齢者としていくことが多く、介護保険サービスをカバーできる状況にある。
		認知症
子ども	1	・子ども・児童扶養手当等
障がい児の放課後サービス ／障がい	2	・福祉以外の会社や団体もサービス提供しているため。 ・障がいも障がい者総合支援制度に基づき、サービスとしては整っている。
よくわからない	2	
その他	1	分野や特性にとらわれている時代ではないので、それぞれの分野や特性が重なることが出来るような仕組み、協働できる政策や制度が必要と感じている

・世代別の設問と類似点があり、高齢者のなかでも介護保険サービスについて挙げられている。

-2. 支援のための制度やサービスが不足している、拡充が必要と感じる対象(分野・特性)はありますか？

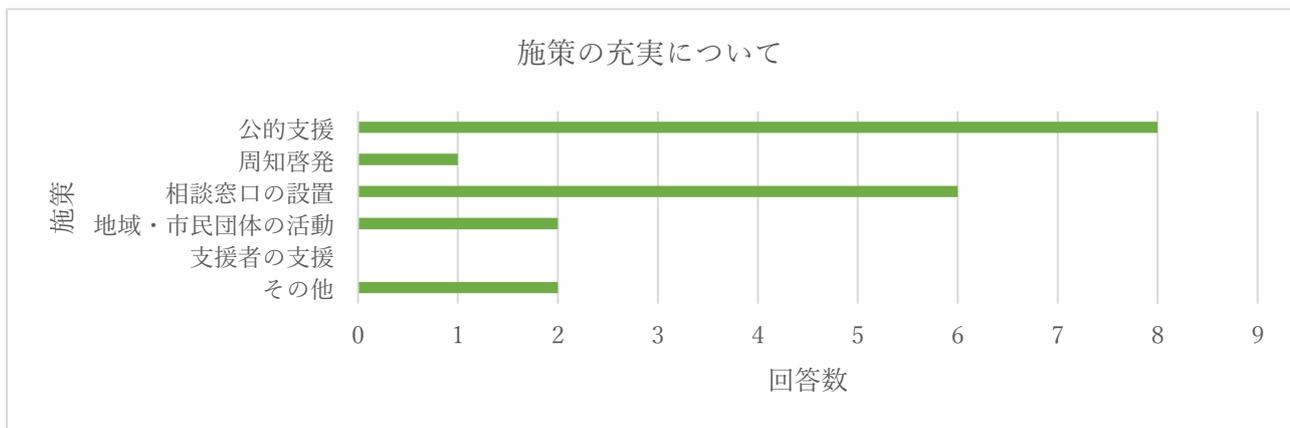
分野・特性	回答数	理由
制度のはざま ひきこもり、ヤングケアラー	2	年齢等で支援制度が変わってしまい、継続的な支援が困難になる方がいらっしゃる
		相談機関が明確でない。現状が浮き彫りにならないことが多く制度が整っていない。
生活困窮者	1	
子育て中の生活困窮世帯／離婚が成立していない世帯・所得があるひとり親世帯	2	世代別でも書いたように、子育て世代への支援制度が確立していない中、経済的に困難な状況にある世帯の、子どもへの影響は大きい。子育ては家庭で担うもの、とされてきたことで、制度づくりが遅れているのかと。子育ては家庭内だけではできない、のは、家庭の怠慢ではないことを、行政がしっかりと認識する、というところからなので先は長いかもしれませんが。
		・調停や裁判となり長期にわたり離婚が成立しない世帯はひとり親支援の制度利用ができない。また、父子のひとり親等は所得があるため、経済的困窮はなくても、家事が十分に行われていない、子どもが家事を担うヤングケアラーになっている等がみられる。そこで高額な自費での生活支援サービスの利用は望まず、男性はあまりSOSを発信しない傾向がある。
高齢者または高齢者介護世帯	1	高齢者や高齢者介護世帯に児童扶養手当に準じるものがあったとしてもよいと思う。
高齢者・障がい者のITC活用	1	災害時の周知方法。音で判断できない場合危険度を目で分かる

		ような工夫はできないだろうか？
障がい(児)者	3	精神、発達障がいのグレーゾーンにいる方々からの相談が多くなり、障がいの相談部署の拡充が必要。 就労支援 B 型が不足している
よくわからない	2	
その他	1	(前問同様)分野や特性にとらわれている時代ではないので、それぞれの分野や特性が重なることが出来るような仕組み、協働できる政策や制度が必要と感じている

- ・世代別の設問と類似点があり、制度のはざまや子育て世帯に対する課題が挙げられている。
- ・障がい分野についても複数の課題が挙げられている。

(4) 施策の充実について

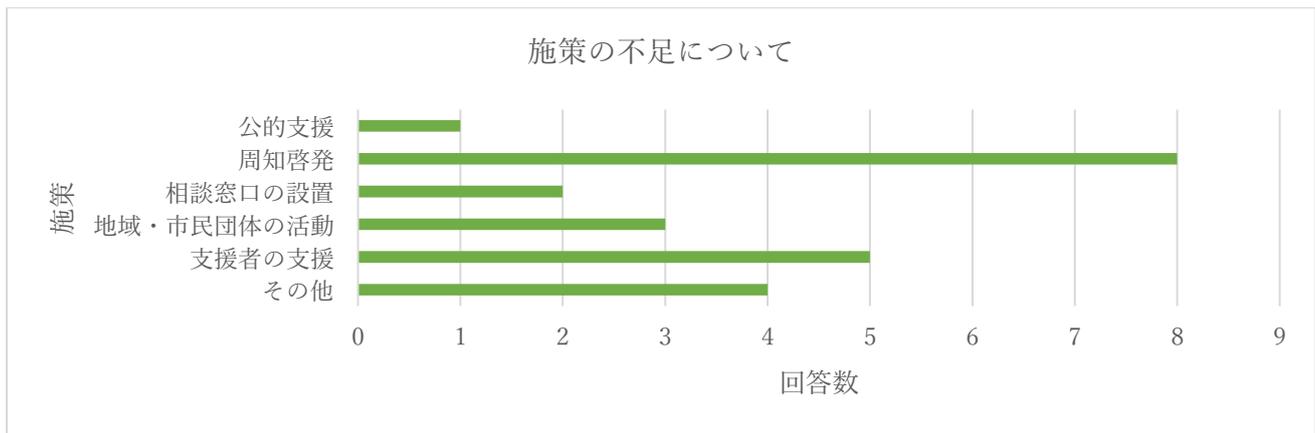
-1. ご自身が関係する世代・対象に対して、どのような施策が充実していると思いますか？



施策	理由
公的支援制度	特に高齢者については沢山の施策が考えられ推進されていると思います。またそれをバックアップする方々もいっしょに、ビジネスに重なっているので安心です。
	公的支援制度はいろいろな世代に対して充実していると思います。
	公的医療制度は、万全ではないが他の制度に比べると整っている
相談窓口の設置	高齢者が利用できる施設は、もっと増やしてほしい。 鵜沼地区は、鵜沼市民センター、太陽の家、湘南なぎさ荘、高木荘と、施設が鵜沼海岸に偏っている気がする。
	介護保険制度があり、包括(いきいきサポートセンター)等の相談機関がある。
	障がいの相談支援体制が構築されたため。
地域・市民団体の活動	<u>民児協や協議体などに参加されている地域住民の貢献度が高い。</u>
その他	高齢者については、公的支援制度(介護保険)、相談窓口(包括支援センター)があることは、充実とは言えないものの、以前と比較するとよくなっていると感じる。

- ・公的支援制度、相談窓口の拡充についての回答が多い。
- ・地域・市民団体の活動についても貢献が認知されている。

-2. ご自身が関係する世代・対象に対して、どのような施策が足りないと思いますか？



施策	理由
周知啓発活動	興味のあることに対する啓発活動は大事だと思いますが、だれでも分かりやすく簡単に出来る啓発にしてほしい。
	限られた医療資源、医療財源を適切に利用するためには、医療リテラシーを高める必要がある。
	小・中・高の子どもたちに対する認知症等の高齢者理解が不足している。
	障がい者への理解が進んでいない。支援者の人材不足がある。
	・必要としている方に情報が届いていない。 ・行政職員がインフォーマルサービスを知らない。
支援者のための活動支援	公的な機関のもつ情報などをセキュリティ(個人情報)を守った形でもっと共有できることや、フィードバックを互いにできると良いと思います。
	個人情報問題もあり、支援に結び付けられない面があると感じています。
	介護者の会などが足りていない。もしくは介護者の仕事が忙しく会に参加できないということがあるのではないかと推測する。
その他	子育て世代への支援に関しては、すべての面で足りていないと感じる。

・世代・分野を問わず、周知・啓発活動の充実が求められている。

・支援者のための活動支援については、個人情報(横のつながり・情報共有)の問題が指摘されている。

(5) 団体(選出母体)または個人の取組について

-1. ここ数年で、新たな課題設定を行い、うまくいった取組がありましたらお教えてください。

課題	取組	団体
他職種の方々とのコミュニケーションを円滑化する	藤沢市薬剤師会主催による <u>多職種カンファレンス</u> の実施	藤沢市薬剤師会
人材育成(法人や事業所を超えた人材育成の体制構築)	・従前より、市内の相談支援専門員の集まりや事例検討会などを実施(少しずつ <u>他分野多領域の方々とも事例検討会の実施</u> を始めている)。	ふじさわ基幹相談支援センター えぼめいく

(参考資料4)

※外部委員会資料を抜粋・一部加工

	・相談支援専門員の資格所得に必要なインターバルに地域の主任相談支援専門員に担っていただいている。	
単身並びに昼間独居の高齢者のための <u>居場所づくり</u>	にこにこデイ事業	藤沢市老人クラブ連合会(村岡地区老人クラブ連合会)
<u>災害時における地域としての福祉的な役割</u> について	ワーキンググループを立ち上げ検討、災害時における地区内でのシミュレーションをもとに、自分事として捉えることを確認。報告会ののち、具体的な取り組みの可能性を検討中。	地区社会福祉協議会 連絡協議会(片瀬地区社会福祉協議会)
<u>若い世代に認知症や高齢者に関心を持ってもらう。</u>	・従前より、市内の相談支援専門員の集まりや事例検討会などを実施(少しずつ他分野多領域の方々とも事例検討会の実施を始めている)。 ・相談支援専門員の資格所得に必要なインターバルに地域の主任相談支援専門員に担っていただいている。	地域包括支援センター 連絡協議会(湘南台地域包括支援センター)
<u>高齢者と小学生の接点がない。</u>	学童(小学生3年～6年)の児童が高齢者住宅にきて、テレビゲームを一緒に行った。	公募委員
<u>障がいの理解促進、普及啓発を図る。</u>	ふじさわパラスポーツフェスタ・藤沢ふれあいフェスタのような、障がいの体験イベントの開催により障がいへの理解、啓発が進んだと感じています。	藤沢市障害福祉団体 連絡会(藤沢市肢体障害者協議会)

-2.これから取り組むべき課題や、その課題に対して予定している活動・取組がありましたらお教えてください。

課題	取組	団体
在宅支援センター(市からの委託を得て医師会で行う機関)の充実	<u>市民の方々からアクセスしやすくしたい(今は直接のコンタクトはできないので)</u>	藤沢市医師会
啓発活動	講演会など	藤沢市歯科医師会
1.災害時の医薬品供給体制の充実 2.医療的ケア児に対する薬学的支援	1.神奈川県及び神奈川県薬剤師会と連携し <u>災害薬事コーディネーターの育成</u> 2.藤沢市における <u>医療的ケア児の実態把握</u>	藤沢市薬剤師会
愛の輪基金の支援を受け、会場費・印刷費・通信費など必要最低限の運営資金を確保し、スタッフの手弁当で事業を続けているが、今後の事業の持続発展のためには、若手高	にこにこデイ事業の目的に賛同して結集しているスタッフは <u>75歳以下の若手高齢者が主流を占めており、日常の実践と反省・総括の繰り返し中で担い手が育っていく仕組みができています。ただし、スタッフの手弁当に</u>	藤沢市老人クラブ連合会(村岡地区老人クラブ連合会)

<p>高齢者のスタッフ(担い手)の養成が必須である。</p>	<p>よるものであり、いつまでも続くものではない。<u>担い手養成</u>のための運営資金の確保が必要である。</p>	
<p>「地域で安心して生活できるよう、ふれあい、支えあう」ことを事業目標として継続して掲げ、これから何をするかより(現状に合わせて改善しながら)取組の継続が重要と考えています、特に福祉分野は。</p>		<p>地区社会福祉協議会 連絡協議会(片瀬地区社会福祉協議会)</p>
<p><u>若い世代に加え、介護を行う機会が多いであろう団塊ジュニア世代に対するサポートを手厚くする必要</u>がある。</p>	<p>今年度は「認知症を知ろう in 湘南台」と題して、講義とグループワークを行う予定だが、ジュニア世代が参加しやすい土曜日に設定。</p>	<p>地域包括支援センター 連絡協議会(湘南台地域包括支援センター)</p>
<p><u>分野や領域を超えた包括的な連携体制</u></p>	<p>分野や領域を超えた包括的な事例検討や勉強会などの実施</p>	<p>ふじさわ基幹相談支援センター えぼめいく</p>
<p>通学路が危険</p>	<p>速度制限を設けてほしい</p>	<p>公募委員</p>
<p><u>高齢者と小学生の接点がない。</u></p>	<p>高齢者住宅の入居者が登校する小学生にあいさつ運動をする。</p>	<p>公募委員</p>
<p><u>障がいの理解促進、普及啓発を図る。</u></p>	<p>引き続き、取り組んでいきます。</p>	<p>藤沢市障害福祉団体連絡会(藤沢市肢体障害者協議会)</p>

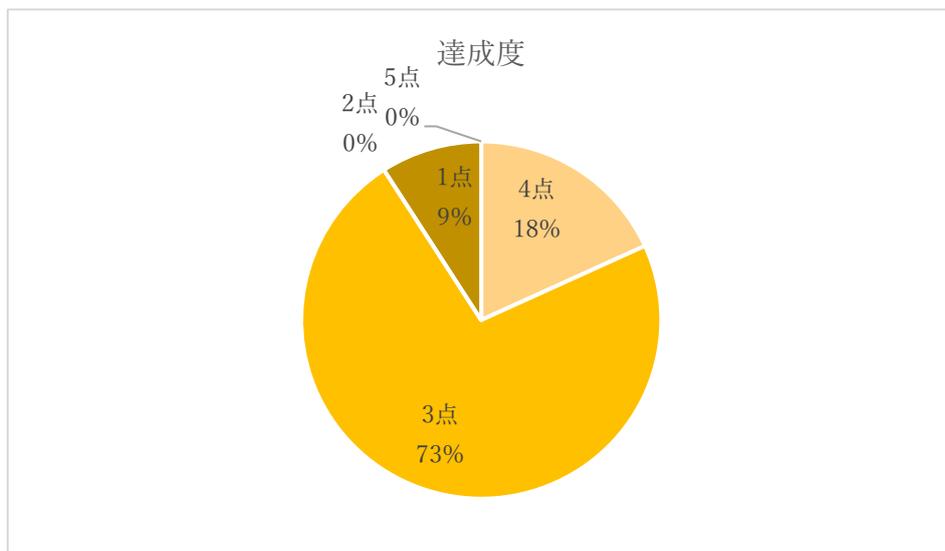
・別問でもキーワードとして挙がっている多職種・多分野の連携や、居場所、災害、普及啓発について、課題感と事業例が同時示されている。

-3. 世代や対象を掛け合わせた(または限定しない)活動・取組がありましたらお教えてください。

世代・対象	取組	団体
後期高齢者・多剤服用者	藤沢市健康づくり課と協働で、 <u>ポリファーマシー対策・薬剤性フレイル啓発</u> を実施	藤沢市薬剤師会
8050 問題対象者	<u>障がい相談、包括、市の相談出張所、CSW で協働し、窓口が一カ所で済むようにしている。</u>	地域包括支援センター連絡協議会(湘南台地域包括支援センター)
全地域住民	<u>公園体操(高齢者・子どもの参加あり)</u>	公募委員

■ 2. 地域の特性や課題・ニーズに応じたまちづくり=====

(1)達成度：地域の特性にあわせた取組・活動が展開されていると感じますか？



点数	理由
4	海岸地帯に市の施設が偏在している。
3	13地区の特性を活かした地域自治を進めたいとの意向を感じる 人生100年時代を見据えた場合、お客さん扱いして高齢者の自主性を損なうような現在の取組み方ではなく、 <u>「高齢者の幸せを高齢者自身の手で創り出せる」</u> そのような環境づくりと支援の仕方が必要であると考える。 公園体操や公民館でのサークル活動は充実しているが、一方で、 <u>縁側機能や認知症カフェなど当事者や地域の住民が気軽に立ち寄れる場所がない、もしくは弱い。</u> 地域の特性がよくわかっていないが活動は盛んだ。 変わりゆく地域にあわせた取組は展開されていないと感じます。 できることをしていることが多いのかと思います。
1	地域の特性に合わせて取組・活動は特に考えていない。

・13地区で特性にあわせた取組・活動の展開について、高い達成度は示されていない。

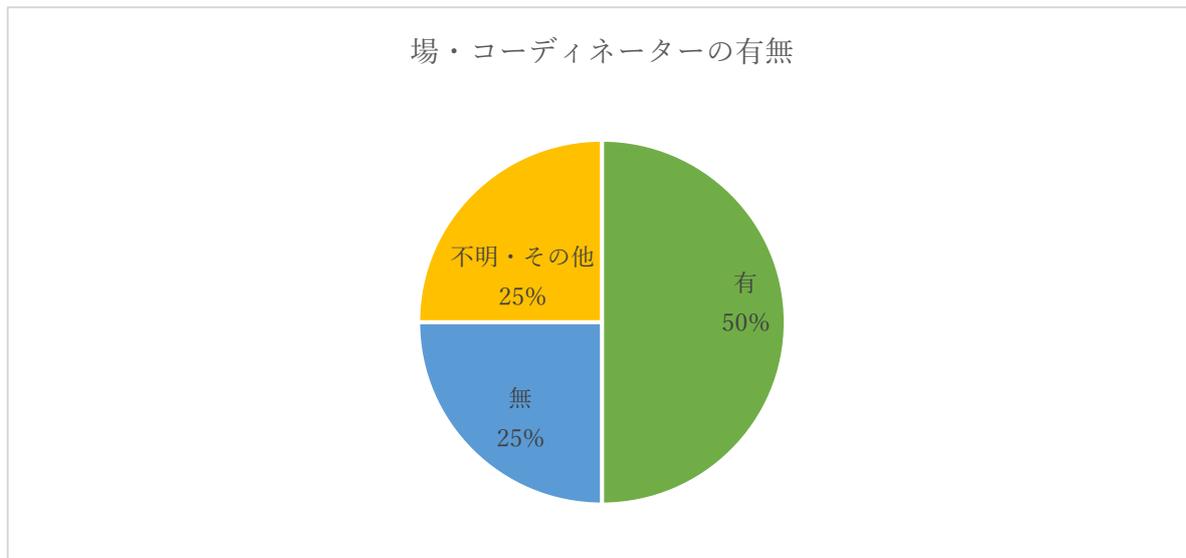
(2)団体・ご自身が関係する地域の特性について

地区	項目	記述
全域	特徴	<p>行事(お祭り等)が盛ん</p> <p>事業の特性上、各地域の特性や違いは感じています。</p> <p>・地域によって、自分たちのまちは自分たちでつくる思いが強いところと、面倒なところは行政任せなところとの差(特徴)がある。</p> <p>・人付き合いの程度、経済面も地域により異なる。</p>
	強み	<p>・各地域の特性を生かした活動が行われている。</p> <p>・祭礼や行事などが継続されている地域が多い。</p>

全域		自治会、包括等の組織が整備されている。
	弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会活動や地域での活動を担う人材の確保が困難 ・祭礼や地域特性に応じた活動の継続が困難 困っている人(生活苦等)の声が聞こえずつかめない状況がある。
片瀬	特徴	町内の同じグループの方には顔の見える関係があり、話しやすいこと <ul style="list-style-type: none"> ・海が近い地域では若い世代の転入が多い。 ・一部の地域で高齢化が進んでいる(50年前に開発された住宅地)。 ・神社を中心とした「祭事」が継続して行われて、関わっている人同士の繋がりが強い。 ・災害時(特に地震・津波)に甚大な被害が想定されるため、災害に対する意識が高い。
	強み	<ul style="list-style-type: none"> ・自治町内会への加入率が90%以上 ・昔から住む人のつながりが強い
	弱み	<ul style="list-style-type: none"> 働く世代の人は日中不在のことが多い点 子どもが少ない傾向がある点 ・地域活動に若い世代の参加が少ない。 ・これまで地域活動が活発であったがゆえに、地域活動の世代交代が遅れている。
鵠沼	特徴	町内の同じグループの方には顔の見える関係があり、話しやすいこと 災害発生時には、地震、液状化、火災、津波、内水氾濫と危険度が高い
	強み	海岸に近く、風光明媚である。
	弱み	<ul style="list-style-type: none"> 働く世代の人は日中不在のことが多い点 子どもが少ない傾向がある点 ①狭隘な道路が多く、結構車の通行量が多い。⇒火災発生時の消防車 ②近所同士の連携が希薄になっている。
村岡	特徴	昔から居住している地元の方々と最近居住しはじめた若い方々が混在していると感じます。
	強み	若い世代、子どもたちが増えている。
	弱み	新しい住民とつながる取組ができていない。
藤沢	特徴	たいてい仲良し
	弱み	たまに変わり者がいる
湘南台	特徴	マンションが多く、独居高齢者で困っている方の発見がしにくい。
	強み	駅周辺やインフラが整っており、買い物による食料と日用品が確保しやすい。
	弱み	市の調査によると湘南台地区は「相談できる人がいない」という調査項目で1位になっている。(孤立化の課題)

- ・市全域としては行事が盛んなことが挙げられている。
- ・南部は海に近い特性上、災害についての指摘が共通する。
- ・複数の地区で若い世代の転入が挙げられているが、交流については課題とされている。
- ・同時期の一斉な宅地開発による高齢化、マンション群での孤立化など、ベッドタウンとしての課題が顕在化している。

(3)地域の課題を団体間で共有する場、地域内で団体同士がつながる場、解決に向けて話し合う場はあると思いますか？またこれらの場をコーディネートする人はいますか？



課題共有・団体連携の場で思い浮かぶもの

場の名称	団体
在宅支援、高齢者支援、認知症	藤沢市医師会
地域ケア会議	藤沢市薬剤師会
地区郷土づくり推進会議	藤沢市障害福祉団体連絡会(藤沢市肢体障害者協議会)
・無いので目下合同会議体を模索中。11月には立ち上げる予定。 ・災害時の対応と各団体との連携	鶴沼地区町内会自治会連合会
郷土づくり推進会議が課題共有の場ではあるが、団体の連携はできていない	地区社会福祉協議会連絡協議会(片瀬地区社会福祉協議会)
協議体(湘南台いきいき会議)、民生委員児童委員連絡会	地域包括支援センター連絡協議会(湘南台地域包括支援センター)
事例検討会	ふじさわ基幹相談支援センター えぼめいく
交流会	公募委員
郷土づくり推進会議・協議体・地区社会福祉協議会	藤沢市社会福祉協議会

・郷土づくり推進会議が複数挙げられている。

コーディネーターで思い浮かぶひと

場の名称	団体
市の関連部署の方々、在宅支援センターの職員さん	藤沢市医師会
地域包括支援センター	藤沢市薬剤師会

(参考資料4)

※外部委員会資料を抜粋・一部加工

会議体以外のひとがいれば良い。	藤沢市障害福祉団体連絡会(藤沢市肢体障害者協議会)
社会福祉協議会の方々、地域共生社会推進室の方々	地域包括支援センター連絡協議会(湘南台地域包括支援センター)
相談支援従事者	ふじさわ基幹相談支援センター えぼめいく
自治会長、公民館長、民生委員	公募委員
市民センターの地域支援担当、地区社会福祉協議会の役員	藤沢市社会福祉協議会

・自治会長や民生委員、地区社会福祉協議会といった方や、地域包括支援センター、相談支援事業所の方、社会福祉協議会、市などが挙げられている。

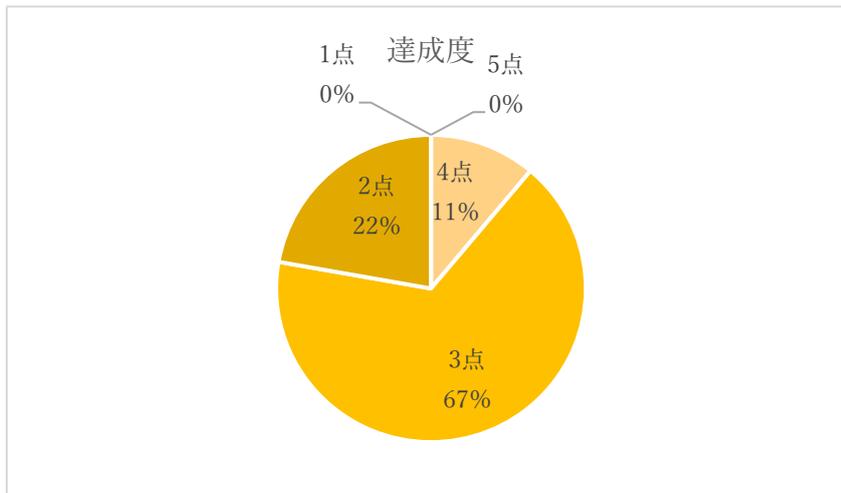
(4) 団体・ご自身の取組について

ご自身が関係する地域の特性にあわせて行っている取組・活動がありましたらお教えてください。

取組	団体
13地区毎に核となる <u>会員薬局を中心に、「おくすり街かど講演会」</u> 事業等を通じ市民への啓発活動を実践している。	藤沢市薬剤師会
今年度来年度は地区郷土づくり推進会議には参加できませんが、民生委員活動と地区災害ボランティアコーディネーター会で活動しています。	藤沢市障害福祉団体連絡会(藤沢市肢体障害者協議会)
自治連を中心に地域団体が集まる合同会議体を目下検討中で、11月の結成を目標にしている。	鵜沼地区町内会自治会連合会
<u>マンション管理人や地域の商業施設への訪問</u> などを行い連携を進める。	地域包括支援センター連絡協議会(湘南台地域包括支援センター)
地域の高齢者福祉事業所が集まって情報を共有する場がある。	公募委員
協議体や郷土づくり推進会議部会、学校運営協議会等への参加	藤沢市社会福祉協議会

■ 3. 地域を拠点とした相談支援体制 =====

(1)達成度(感覚で構いません):身近な生活圏内のなかで、相談できる体制が整っていると感じますか？



・平均点:2.90

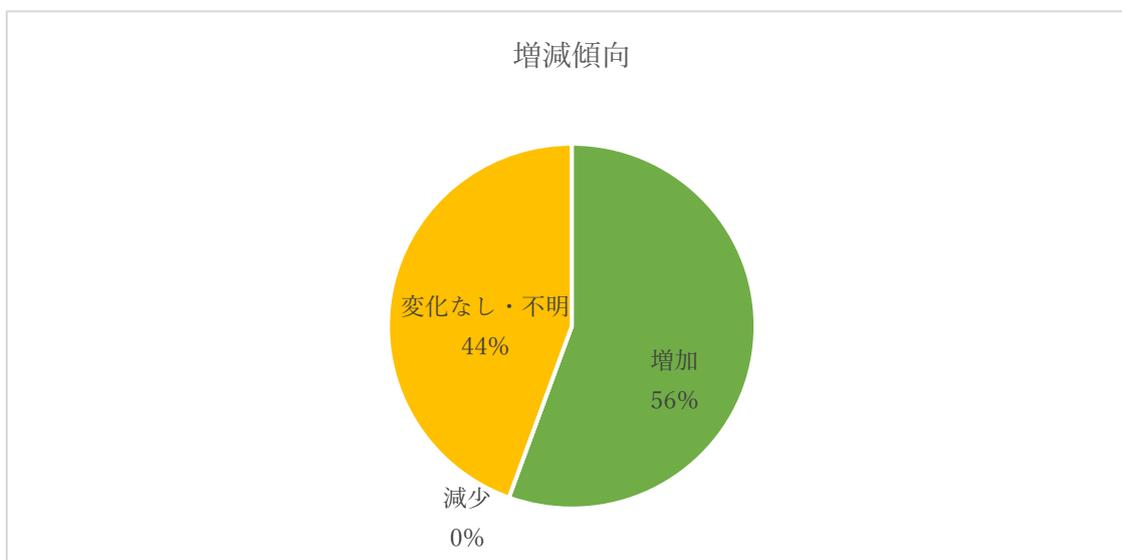
点数	理由
4	<p>困りごとは市の窓口や民生委員さん、社協などに問い合わせしている様子。地域同士顔の見える関係があるので。</p>
3	<p>どこに相談できるのか分からないことも多い。</p> <p>地域で活動している民生委員や CSW がいるため。いきいきサポートセンター(包括)もあって高齢者の場合整っているが、障がい者の場合は整っていない。</p> <p>相談をしようと思えば、市民センターなど、身近に窓口はあるので、体制としては整っていると思うが、実際に、相談者がそこに繋がる事が出来ているかは市民サイドでは判断できません。高齢者が、支援の相談に包括支援センターを選択することはかなり浸透していると思います。片瀬地区社協の活動として、まちかど相談(高齢者・子育て・障がい・生活全般)、を地区ボランティアセンターに週1回開設しており、より身近な相談窓口を目指しており、特に子育て相談に関しては、多くの方が利用。</p> <p>ご近所トラブルについて相談されても困ることがある。(一方が認知症など何らかの脳障がいがあれば介入しやすいが、双方、一方的な高齢者の場合、どこにつないでよいかわからない時がある)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内を地域にわけた相談支援体制と専門相談支援体制が構築されている。 ・市民や関係機関への周知が充分ではない。 ・地域で安心して安全に暮らしていくために必要な支援体制のイメージの共有が必要。 ・藤沢型地域包括ケアシステムのイメージの共有と汎化が必要。 ・障がいや社会的に支援が必要な方々の把握と、安心して相談できる窓口の整備。 <p>・行政的には一通りあると思う。市民センター内にも福祉窓口、福祉指導員、地域保活支援センター、障がい者相談支援センター等がそろっているところもある。</p> <p>・地域の縁側では、参加者同士が、相談の形でなくても日常の会話の中で、相談したりされたりしている。</p>

2	公的な相談窓口だけでは、幅広い相談需要に応えることは難しいと感じている。薬局は、 <u>地域社会での身近な相談窓口</u> としての機能を有しており、必要に応じて様々な機関に紹介する機能(<u>地域社会のハブとなる機能</u>)を有している。藤沢市薬剤師会では、「おくすり相談薬局」事業を通じ、周知を図っているところであるが、 <u>より多角的な広報周知が必要</u> と感じている。
	家庭のことや近所トラブルなど、どこに相談に行ったらよいかわからない。

・各地区の相談窓口や、CSW、民生委員の体制整備については前向きな意見もあるが、その周知や支援へのつながりについては課題が挙げられている。

(2)相談の受け入れ状況について(相談される機会がある方・団体のみ)

-1.相談件数の増減傾向をお教えてください。※コロナ禍以降を目安としたここ数年



増減傾向	記述	団体
増	ここ数年、介護予防のプラン作成が増えており、相談を受けてきた方々がサービス利用に至ったことを示している。	地域包括支援センター 連絡協議会(湘南台地 域包括支援センター)
	<ul style="list-style-type: none"> ・特に他市や他県からの転入、「児」から「者」への移行に関する相談が増加。 ・世帯支援など、本人の問題と環境の問題を複合的に解決が必要な相談が増加。 ・公的サービスだけでは、解決できないような相談の増加。 	ふじさわ基幹相談支援 センター えぼめいく

-2. 相談内容の傾向をお教えてください。※コロナ禍以降を目安としたここ数年

・相談内容の傾向;

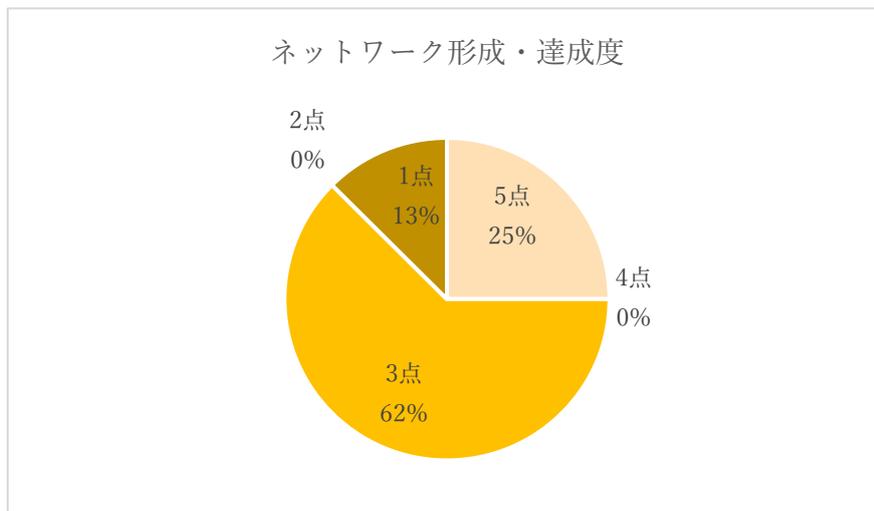
記述	団体
学校に行けない(中高生) 独居(高齢者)だが人を頼りたくない など	藤沢市医師会
歯科治療や口腔ケアに関する内容。 在宅歯科治療に関する質問など。	藤沢市歯科医師会
・SNS 普及に伴い不正確な健康情報が蔓延している。特に OD(オーバードーズ)問題や大麻などの医薬品等の不適切使用が増加している。 ・後発医薬品をはじめとした医薬品の供給不安定が増加し、患者や処方医等への対応に苦慮している。 ・コロナ禍直後は、低栄養やフレイルなどの相談が増加した。	藤沢市薬剤師会
認知の相談が増。	藤沢市障害福祉団体連絡会(藤沢市肢体障害者協議会)
子育てについての相談が多い(他に、地区内に子育てに関する相談窓口がないこと、相談を受ける者(臨床心理士)がひとりなので、いつも同じ人に相談できる安心感が要因かと)	地区社会福祉協議会 連絡協議会(片瀬地区社会福祉協議会)
様々だが切羽詰まってからの相談は多い。	地域包括支援センター 連絡協議会(湘南台地域包括支援センター)
(前問同様) ・特に他市や他県からの転入、「児」から「者」への移行に関する相談が増加。 ・世帯支援など、本人の問題と環境の問題を複合的に解決が必要な相談が増加。 ・公的サービスだけでは、解決できないような相談の増加。	ふじさわ基幹相談支援センター えぼめいく
経済的困窮・家族や地域との関係・介護や病気について等	藤沢市社会福祉協議会

・相談件数については、若干、増加傾向。

・医療、障がい、福祉などの分野ごとによってさまざまな相談内容が挙げられている。

(3) 相談ネットワーク・つなぎについて(相談される機会がある方・団体のみ)

-1. 自分・所属団体で対応が難しい相談だった場合、他の団体や地域内で相談をつなぎ、支援ができるネットワークがつくられていると感じますか？



平均点: 3.22

点数	理由
5	高齢者についてはネットワークはしっかりしていて助かる。若年者の不登校などは相談先が難しい。
	CSW、行政、医療、障がい部門など、ケース支援を通じて多岐に渡るネットワークが構築されている。
3	十分ではないが、少しずつ地域医療介護福祉連携が整ってきている
	我々の仕事の本来業務だから
1	つなげる先が少ない

・相談体制全般の達成度と比較して、支援者側のネットワークについては連携が進んでいる評価となっている。

-2. 他の団体等につなぐ場合、よくあるつなぎ先をお教えてください。

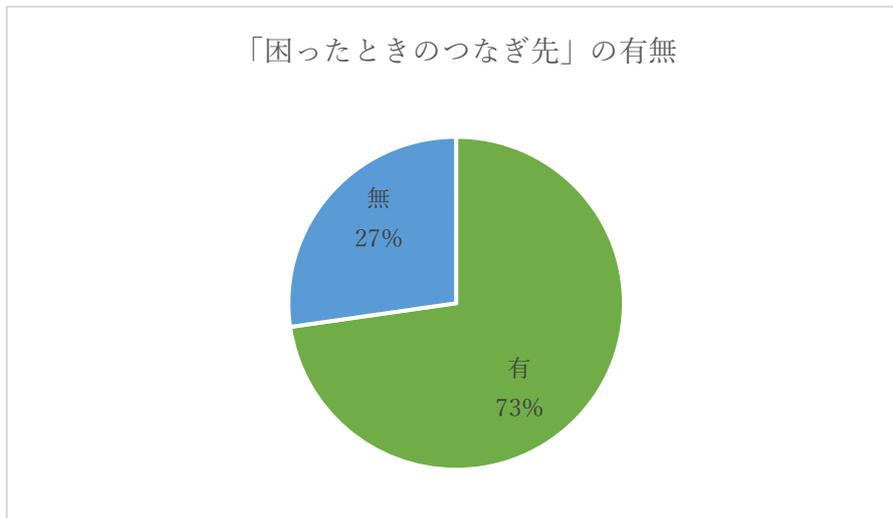
団体元⇒	⇒つなぎ先
藤沢市医師会	いきいきサポートセンター
藤沢市薬剤師会	医療機関、地域包括、市社協、市役所
藤沢市障害福祉団体連絡会(藤沢市肢体障害者協議会)	メーリングリスト、包括
地区社会福祉協議会連絡協議会(片瀬地区社会福祉協議会)	高齢者に相談された場合は、包括支援センターへその他については市社協 CSW へ
地域包括支援センター連絡協議会(湘南台地域包括支援センター)	CSW、病院の MSW、高齢者支援課、etc
ふじさわ基幹相談支援センター えぼめいく	行政機関、医療機関、教育機関、関係機関、地域相談、計画相談、高齢分野、児童分野、家族、その他

藤沢市社会福祉協議会	民生委員児童委員、地域包括支援センター・障がい者地域 相談支援センター 地区ボランティアセンター
------------	--



・地域団体・社会福祉協議会(CSW)を中心に地域の声を拾い、どこかの関係機関につながったあとは、各機関双方に矢印が向くようなネットワークになっている。

3. 支援につながる具体的な相談窓口がわからない場合(困ったときの「とりあえずのつなぎ先」)で、思いつく連絡先はありますか？



団体元⇒	⇒つなぎ先
藤沢市医師会	(若年層について)思春期外来の医師
藤沢市歯科医師会	医師会、薬剤師会、市民病院等
長後地区ボランティアセンター「なごみ」	市民センター、包括支援センター、CSW

(参考資料4)

※外部委員会資料を抜粋・一部加工

藤沢市障害福祉団体連絡会(藤沢市肢体障害者協議会)	CSW、障がい者支援課、福祉窓口
地区社会福祉協議会連絡協議会(片瀬地区社会福祉協議会)	市民センター
地域包括支援センター連絡協議会(湘南台地域包括支援センター)	社協、警察、行政各課
ふじさわ基幹相談支援センター えぼめいく	基幹相談支援センター、行政機関
藤沢市社会福祉協議会	コミュニティソーシャルワーカー(CSW)、市民センター、市民活動推進センター

・前問と同様、CSW(社協)や分野ごとの相談窓口が示されるほか、市民センターや市民活動推進センター、警察も挙げられている。